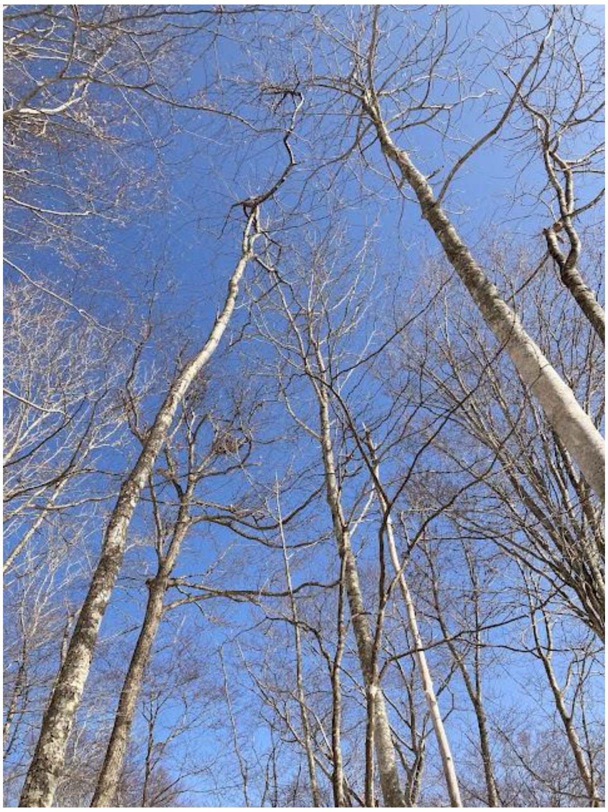
南会津・二岐山　山スキー

Ｔ野

2023 年 3 月 11 日
メンバー：　Ｔ野・Ｄ山・Ｔ中m



　　ここのところのバカ陽気で雪解けが一気に進んでいる。二岐山にほど近い羽鳥湖スキー場の積雪はわずか 80 ㎝、今週いっぱいで営業終了ということだ。こんな状態で二岐山は果たしてまだ滑れるのか？一抹の不安を抱えながらの出発となる。前夜は「道の駅　季の郷天栄」でテントを張らせてもらって仮眠。この時点で雪は全くない。

　3/11、入山口の二岐温泉に向かうが、直前でようやく雪が出てくる。ただ、もう賞味期限ぎりぎり、来週には下部の雪はきっと切れてしまうだろう。二岐山は 2009 年以来、久々の再訪だが、記憶がほとんどなく感覚的には初見に近い。二岐山は見事な双耳峰で、「漫画日本昔話」によくでてくる里山の絵のような山である。そんなほっこりとした感じのどこにでもありそうな里山だが、実は傾斜は、そこそこ急で下部こそ少し木が密に感じるが、中間部は急すぎず緩すぎない最高に気持ちの良い疎林が広がり、この辺りはパウダーだったらきっとたまらないだろう。しかし、上部は意外に急峻で、斜滑降・キックターンができない初級者には厳しいところだ。また、ここは雪の状態によっては雪崩にも警戒が必要だ。山頂まで、展望が効かないが、山頂だけは 360 度の大展望が得られるので、ぜひピークを目指したい山である。

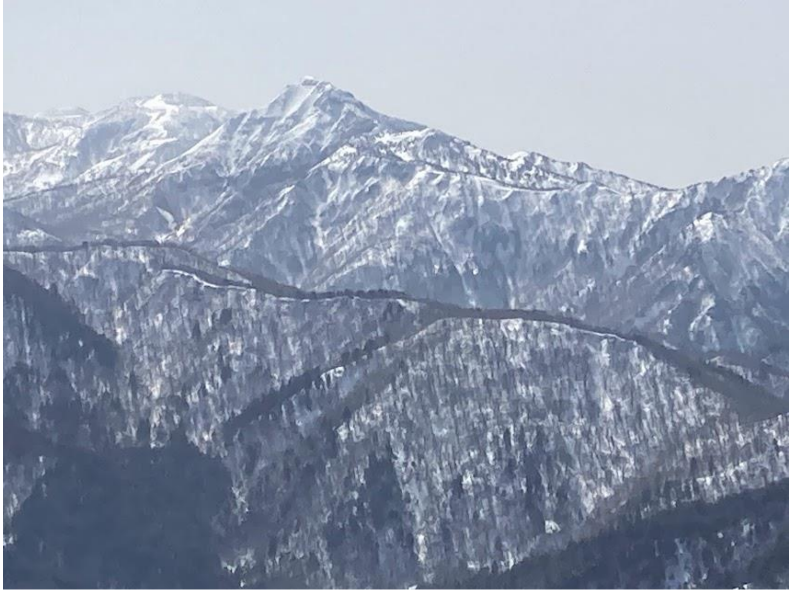
■写真上　きれいなブナの幹。

■写真下　ブナの疎林にて。

　ということで、今回、僕たちも当然山頂を目指した。上部に行くにつれ急峻になり、最後は少しの距離だがシートラーゲンで登った。雪もデロデロでいかにも滑りづらそうだ。この条件では帰りの滑降が不安だと「ぶつぶつ」言いながらもｍさん何とか登ってくれた。山頂からの景色は、晴れてはいるのだが、黄砂でも飛んできているのか、全体的に霞んでいて、薄ぼんや

りとはっきりしない景色であった。それでも近くには那須の山々、遠くには猪苗代湖や吾妻連峰・磐梯山、さらに遠くに飯豊連峰や越後の山々が霞み、風もなく穏やかなので気持ちがいい。「ねっ、登ってよかったでしょう？」とmさんに尋ねたら「・・・！！」と無言。どうやら、登頂の喜びを感じるまでは至らないらしい。

　さて、帰りの滑降は、思った通り雪がデロデロで実に滑りづらく、上部の急斜面では、ちゃんと降りて来られるのか少し心配だったが、そこはいざというときは自分で何とかするmさん。斜滑降・キックターンで無難に下りてくるではないか。さすがである。体が山側を向いてしまうと次のターンのきっかけがつかめないので、「体を谷側に向けて！！」といくら言ってもなかなかいうことを聞いてくれなかったが、試しに、「お願いしますよ！！」と頼んでみたら、ニカッと一瞬笑って谷を向いて滑るようになった。「なんだ、やりゃできるじゃん！！」一方、Dチャンはこんな滑りにくい雪でも楽しそうにテレマークターンを決めながら降りてくる。雪質を選ばない強い滑りである。テレマークターンをきれいに決める人は、私の周りに今までいなかったので思わず見入ってしまう。ということで、全体的にはストップ雪で滑りづらかったが、中間部はそれなりに楽しく滑れた。次回はぜひ、パウダーの時期に再訪したいところだ。



■写真上　天に向かってスクっと伸びるブナ。
■写真中　山頂直下、景色が開けてきた。
■写真下　旭岳が格好いい。

　何だかんだいっても下りは早く、1 時間ちょっとで滑り降り、快適にドライブして喜多方ラーメンで下山祝い。今日の宿、大塩裏磐梯温泉「ホテル観山」へ向かう。旅行支援が効いて１泊

素泊まりで１部屋￥9000、さらに、クーポン券が一人￥1000付く。実質￥2000弱、いったいどんな宿かと思ったら、立派なホテルでびっくり！！スタッフも親切で温泉も素晴らしく、部屋も広くて素泊まりでは最高の部類であった。

■コースタイム
登山口（7:50）～（11:30）二岐山（12:10）～（13:30）登山口

■写真　二岐山山頂！！